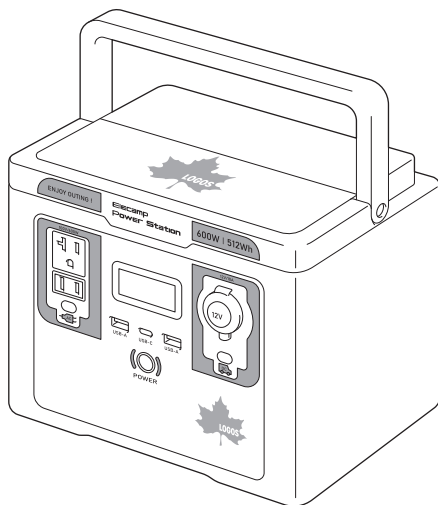




LOGOS
OUTING EQUIPMENT

(野電)エレキャン・パワーステーション
ポータブル電源 Pro600(600W/512Wh)
No.74175111

取扱説明書



もくじ

ご使用の前に

- 安全上のご注意……………2
- 使用上のご注意……………4
- 各部の名称……………6

使いかた

- 蓄電する……………8
- 使いかた……………10
- お手入れ／収納……………14

こんなときは

- 故障かな？と思ったら ……15
- エラーメッセージ……………17
- 仕様……………裏表紙
- 保証書……………裏表紙

保証書付き

この度は、本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この説明書をよく読んでください。
また、事故やけが、器具の破損などを防ぎ、
安全に正しくご使用いただくために、注意事項は必ずお守りください。
この取扱説明書は、大切に保管してください。



※本書は2026年4月時点のものです。内容が更新される場合がありますので、必ず二次元コードから最新の取説をご確認のうえ本製品をご使用ください。最新の取説は、弊社ホームページからもご確認いただけます。





安全上のご注意

人への危害や財産の損害を防ぐため、次の事項を必ず守ってください。

■ 誤使用により生じる危害や損害の程度の区分

 警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容です。
 注意	傷害を負うおそれや、財産の損害が発生するおそれがある内容です。

■ 注意事項の内容の区分

	してはならない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

破裂、発火、けがのおそれあり



- 熱源（火気、燃焼器具、直射日光など）の近くや引火性ガスが発生する場所、炎天下の車内などで使用・保管・設置しない。また、高温で密閉された空間に保管しない。
- 電源が入った状態で、箱などに入れない。
- 使用中は排気口をふさがない。（本体に熱がこもり、火災のおそれ）
※排気口の周囲は15cm以上空け、定期的にはこりを取り除いてください。
- 本製品のポートやコネクタに、コード以外の金属類や異物を差し込まない。
- 本製品のAC入力ポートにACコードを接続した状態で、コード反対側の電源プラグを本製品のAC出力ポートに差し込まない。
- 落下など強い衝撃を与えたり、乱暴に取り扱ったりしない。
- 表示された電源電圧以外で使用しない。
- 分解・修理・改造しない。



- 異音・異臭・作動不良など故障の疑いがあるときは、直ちに使用を中止し、コードを取り外す。

警告

発火、感電のおそれあり



- 本体への蓄電には、付属のコード以外は使用しない。(正常に蓄電できないおそれ)
- 付属するACコードは、本製品以外の電気製品には使用しない。
※本製品専用品です。
- 海外で使用しない。
※本製品は、日本国内専用品です。
- コードは、傷つけたり引っ張ったり踏んだりしない。
- 濡れた手で操作、使用しない。
- 雨中や濡れる場所、高温・多湿な場所、ほこりの多い場所で使用・保管・設置しない。
- -10℃以下または45℃以上の環境に長期間放置しない。
- 濡れていたり、ぬかるんだ地面に設置しない。
- 使用中に雷が鳴り出したら、コードに触れない。
- 水をかけたり、濡らしたり、水中に落下させたりしない。
- 排気口などから異物を入れない。



- プラグのほこりは、定期的に取り除く。
- プラグは、奥まで確実に差し込む。
※差し込みが緩いときは、使用しないでください。
- 蓄電後は、電源側のプラグを抜いた後で本体側のプラグを抜く。
- 使用しないときは、コードを取り外す。

注意

けが、財産の損害のおそれあり



- 次のような機器には使用しない。
 - ・ 医療機器など生命にかかわる機器
 - ・ 公共的な機器、事業用の重要な機器など
- 不安定な場所に置かない。
- 本体に油などが付着した状態で使用しない。
- 小さな子どもには使用させない。
- 乗ったり寄りかかったりしない。



- 乳幼児の手の届かない所に保管する。
- お手入れするときは、必ず電源を切り、コードを取り外す。

使用上のご注意

故障、破損などを防ぐために

- 以下の点に留意する。
 - 本製品の定格電力は600Wです。
定格電力を超える機器や、始動電力が定格電力を大幅に超える可能性のある機器は使用しないください。
瞬間的に機器の消費電力が定格電力を超えることがあるため、定格電力ギリギリの出力は避け、10～20%ほどの余裕をもって使用してください。
(バッテリーが損傷するおそれ)
 - 複数の機器を同時に接続する場合は、接続する外部機器の消費電力の合計が定格電力を超えないことを確認してください。
 - 本製品は防塵・防水仕様ではありません。
ほこりや水、海水などがかからないように注意してください。
 - 外部機器への出力中は本体が温くなるため、周囲に物を置かないでください。
 - 外部機器の充電制御や充電状況、環境などにより、うまく電力が供給されない場合があります。

600Wの出力で使用できる機器(例)

製品	一般的な消費電力	使用可否
電気毛布	40～80W	○
低出力ホットカーベット(1畳程度)	200～300W	○
扇風機	20～50W	○
ポータブル冷蔵・冷凍庫	50～150W	○
ミニ炊飯器	200～400W	○
低出力コーヒーマーカー	300～600W	○
小型テレビ	50～150W	○
スマホ充電	10～30W	○
タブレット	20～40W	○
ノートPC	50～100W	○
電気ケトル	1200～1500W	×
ドライヤー	1000～1400W	×
ホットプレート	1000～1300W	×
トースター	800～1200W	×
炊飯器(炊飯時)	700～1200W	×
IHクッキングヒーター	1000～2000W	×
電動工具(ドリル・グラインダー)	600～1000W以上	×
電気ヒーター	800～1200W	×
こたつ	500～800W	×
コーヒーマーカー	800～1200W	×

※「弱」など、設定によっては○

※ 例示している製品および記載している消費電力はあくまで参考の数値です。
機器の消費電力によっては、上記の例にかかわらず使用できる場合があります。
ご使用の前に、各機器の消費電力を必ずご確認ください。

上手にご使用いただくために

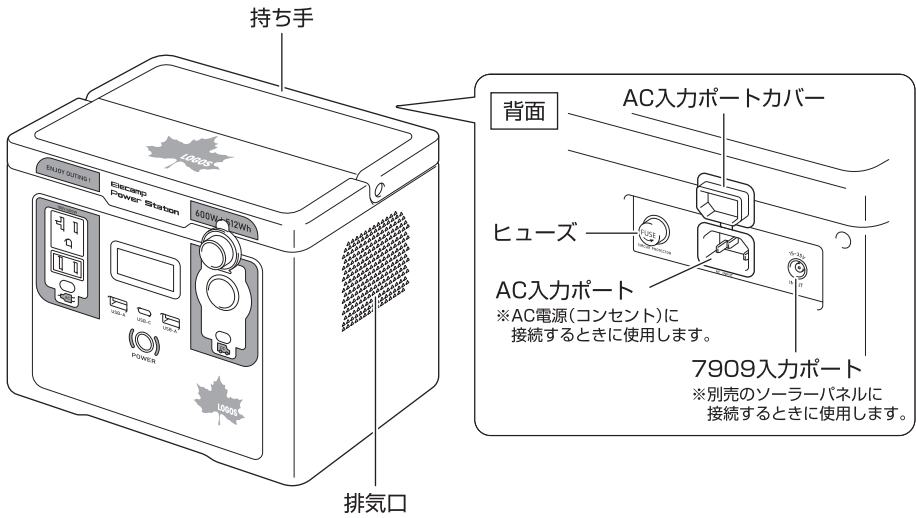
- 使用環境温度(0~40℃)で使用する。
使用環境温度を下回る、または上回ると、保護機能が働き運転が停止する場合があります。
- 航空機には持ち込まない。

廃棄するときは

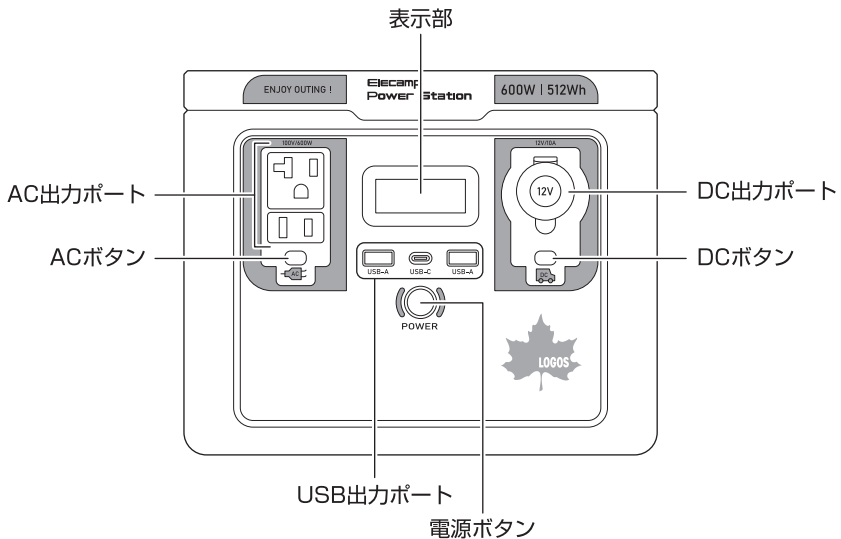
- 本製品にはリチウムイオン電池が内蔵されています。
廃棄する際は、各自治体の指示にしたがって、リチウムイオン電池対応の回収方法で処分してください。
一般の家庭ごみとして廃棄しないでください。

各部の名称

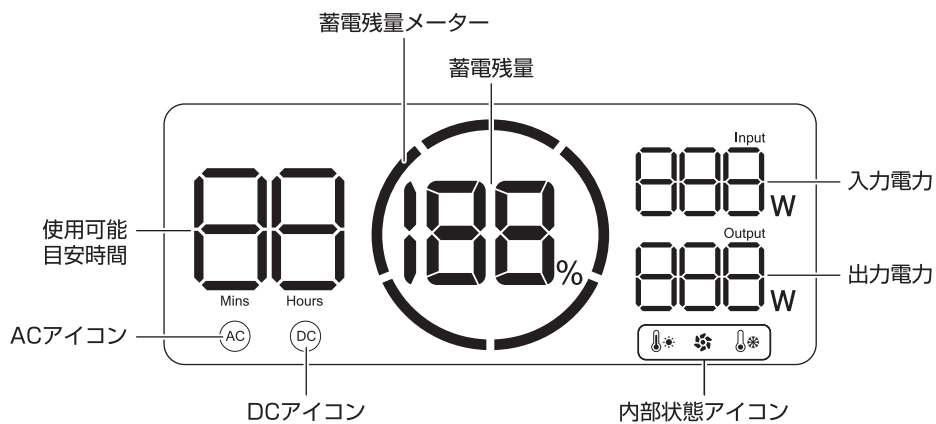
本体



本体正面

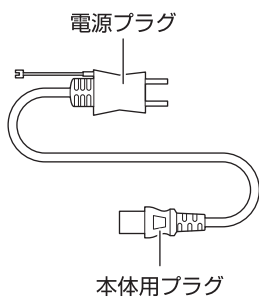


表示部

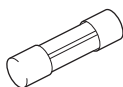


付属品

ACコード



予備ヒューズ



蓄電する

- 蓄電：本製品への充電 (INPUT)
- 充電：本製品から外部USB機器への充電 (OUTPUT)



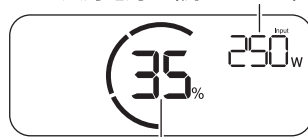
注意

- 購入後すぐに、蓄電する。
(自然放電により蓄電池が100%未満の場合があり、そのまま保管すると電池寿命を縮めるおそれ)
- 本体や手、ケーブルが濡れた状態では絶対に蓄電しない。
- 定格入力(100V/2.5A)に合う電源を使用する。
※異なる規格の電源を使用すると、正常に蓄電できないおそれがあります。
- 蓄電池の特性上、本製品の充電能力は繰り返しの使用により低下していきます。
- 0~40℃の温度環境で蓄電する。

1 入力ポートにコードを差し込む

- 蓄電中は、電源ボタンが点滅し、表示部が点灯します。
- 蓄電中、表示部には下記の情報が表示されます。
 - ・蓄電残量
 - ・電源から本体への入力電力量(目安)

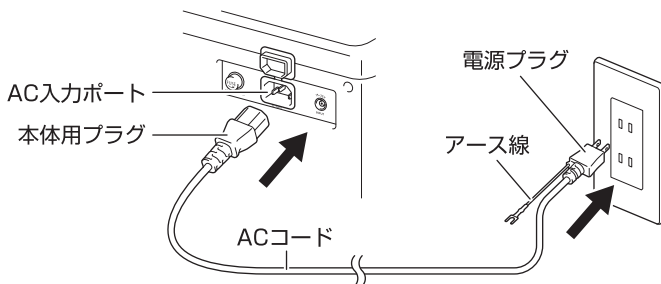
入力電力量(例：250W)



蓄電残量(例：35%)

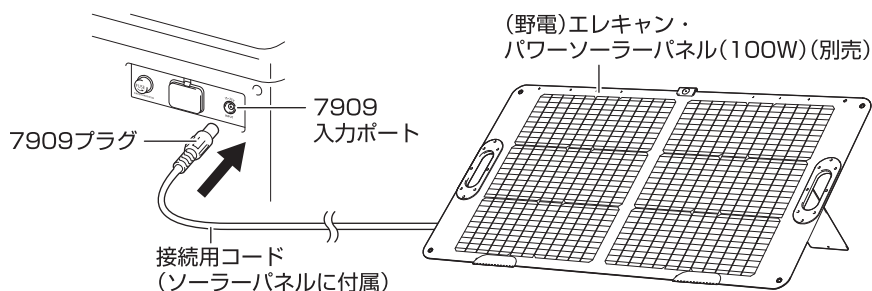
コンセントに接続する場合

- AC入力ポートカバーを開き、差し込みます。



- 必要に応じて、アース線も接続してください。
- ※ プラグやコードが水に濡れ、漏電するおそれがある場合は、アース線を取り付けてください。
(基本的には、アース線を取り付けなくても問題なくご使用いただけます)

別売のソーラーパネルに接続する場合



※別売のソーラーパネルを接続して蓄電できます。

(野電)エレキャン・パワーソーラーパネル(100W) (No.74175120)

※本製品に、ソーラーパネル用のコードは付属していません。

ソーラーパネルに付属のコードを使用してください。

※詳しい使用方法は、ソーラーパネルの取扱説明書をご覧ください。

※ソーラーパネルは、予告なく販売を取り止めたり終了する場合があります。

Point

- 蓄電速度は、バッテリーの蓄電残量に応じて変化します。
蓄電残量が少ないときは、自動的に入力電力が高めになり、蓄電速度が上がります。
蓄電残量が多くなると、入力電力が低く抑えられるため、蓄電速度は低下します。
これはバッテリーへの負荷を抑制するための機能であり、故障ではありません。
- 蓄電中も外部機器へ出力することができます。
ただし、本体への入力(蓄電)と外部機器への出力(給電や充電)にかかる合計電力(W数)が、定格出力を超えないように注意してください。
また、蓄電中に接続できる外部機器は1台のみです。
※定格出力を超えた場合や、複数台を接続した場合、外部機器への出力が自動的に停止することがあります。また、場合によってはエラーコードが表示されることがあります。
その際は「エラーメッセージ(P17~18)」をご確認ください。

2 蓄電完了後、コードを抜く

- 表示部に蓄電残量のみ表示されます。
- コンセントから蓄電した場合は、コードを抜いた後、AC入力ポートカバーを閉めます。

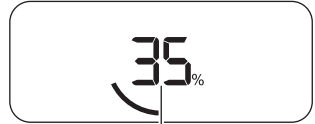
使いかた



- 使用環境温度(0~40℃)で使用する。
使用環境温度を下回ると、または上回ると、保護機能が働き運転が停止する場合があります。

1 電源ボタンを長押しする

- 電源が入り、表示部、電源ボタンが点灯します。
- 表示部には、現在の蓄電残量が表示されます。



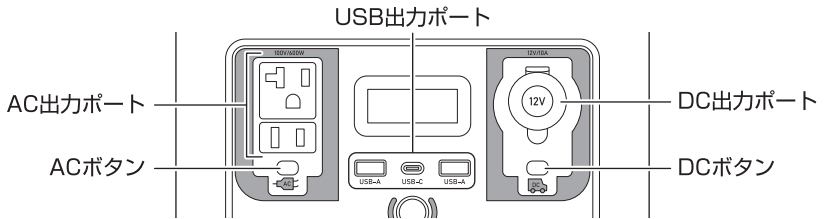
蓄電残量(例: 35%)

Point

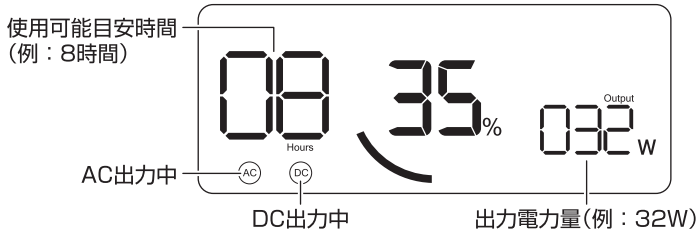
- 本製品のAC出力時の周波数は、出荷時は60Hzに設定されています。
接続する外部機器の仕様に応じて、50Hzに切り替えることができます。
切り替え方法は、P13「AC出力時の周波数切り替え」をご確認ください。
※外部機器の定格周波数に合わせて、必ず本製品の出力周波数を設定してください。
異なる周波数で使用すると、性能低下や発熱、故障のおそれがあります。

2 使用したいポートのボタンを短く押す

- ACポートを使用する場合は、ACボタンを押します。
- DCポートを使用する場合は、DCボタンを押します。
- USBポートは、電源が入っていれば使用できます。(対応するボタンはありません)



- 対応するポートから出力できる状態になります。
出力タイプのアイコン、使用可能目安時間、出力電力が点灯します。



※複数のポートを同時に使用することもできます。

接続する外部機器の台数が増えるごとに、本体の蓄電残量の減りも早くなることにご注意ください。

また、接続する外部機器への出力電力の合計が定格電力を超えないようにしてください。

Point

- 蓄電残量の減少にしたがって、蓄電残量メーターの点灯状態が変化します。



3 使用したい出力ポートに、外部機器を接続する

- 外部機器への出力が始まります。

使用後は

1 接続している外部機器の電源を切り、出力ポートから外部機器のプラグなどを抜く

2 出力中のポートのボタンを短く押す

- 対応するポートからの出力が停止します。
 - 出力タイプのアイコンが消灯します。
- また、すべての出力を停止した場合、使用可能目安時間、出力電力も消灯します。

3 電源ボタンを長押しする

- 電源が切れ、表示部、電源ボタンが消灯します。

使いかた つづき

電源の自動OFF機能

- 本製品には電源の自動OFF機能があります。
 - 本体の電源が入っていて、外部機器を接続していないときは、ボタン操作をやめて約4時間が経過すると、自動的に本体の電源が切れます。
- ※ 不要な放電を防ぐため、使用時以外は電源を切ってください。

スリープモード(画面表示の消灯)

- 本製品にはスリープ機能があります。
スリープモード中は、画面表示が消灯します。
- 外部機器を接続して使用しているとき、ボタン操作をやめて約5分が経過すると、自動的にスリープモードになります。(スリープモード中も、外部機器への出力は継続します)
いずれかのボタンを短く押すと、スリープモードが解除されます。
- 手でスリープモードに切り替えることもできます。
電源が入っている状態で電源ボタンを短く押すと、スリープモードになり、画面表示が消灯します。
- スリープモード中にバッテリーへの負荷量が増えた場合、自動的にスリープモードが解除されることがあります。

EPS機能

- 本製品にはEPS機能があります。
 - 本体の蓄電中に、本体に接続した外部機器に直接電力を送ることができます。
ただし、本体への入力(蓄電)と外部機器への出力(給電や充電)にかかる合計電力(W数)が、定格出力を超えないように注意してください。
また、蓄電中に接続できる外部機器は1台のみです。
※ 定格出力を超えた場合や、複数台を接続した場合、外部機器への出力が自動的に停止することがあります。また、場合によってはエラーコードが表示されることがあります。
その際は「エラーメッセージ(P17~18)」をご確認ください。
 - コンセントから給電している際に停電などで本体への電力供給が停止した場合は、自動的にバッテリー電源モードに切り替わります。
- ※ UPS(無停電電源)機能ではないため、UPS機能が必要となる外部機器には使用できません。

AC出力時の周波数切り替え

- 出荷時の周波数は60Hzです。
接続する外部機器の仕様に応じて、50Hzに切り替えることができます。
※外部機器の定格周波数に合わせて、必ず本製品の出力周波数を設定してください。
異なる周波数で使用すると、性能低下や発熱、故障のおそれがあります。

1 電源ボタンを長押しして、電源を入れる

2 AC出力をオフにする(オフであることを確認する)

3 ACボタンを長押し(10秒)する

- 周波数設定モードに切り替わり、「F60」または「F50」と表示されます。
※ F60=60Hz、F50=50Hz

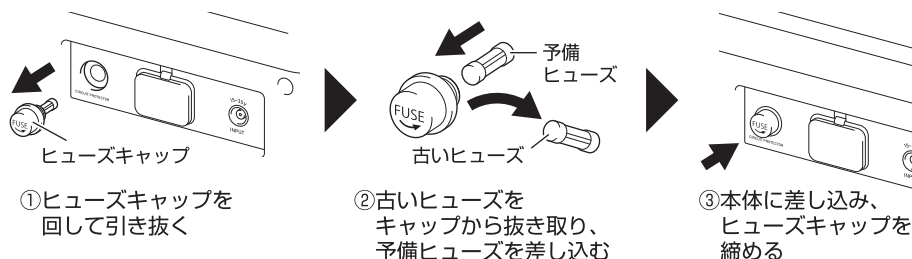
4 AC出力ボタンを押して、周波数を切り替える

5 ACボタンを長押し(10秒)する

- 設定モードが終了します。

AC入力側の過電流保護機能

- AC入力(コンセントに接続)中、入力電流が10A以上の状態が続くと、本体の過電流保護機能が働き、ヒューズが飛んで本体が保護されます。
その際は、本体に異常が無いことを確認し、予備のヒューズに交換してください。



- ※ 取り出したヒューズは、紙などに包み、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがって廃棄してください。

お手入れ／収納

お手入れ



注意

- お手入れするときは、必ず電源を切り、コードをすべて取り外す。
- 水洗いはしない。

Point

- 酸性・アルカリ性の強い洗剤や薬品、漂白剤、金属たわし、ナイロンたわし、研磨剤入りのスポンジなどは使用しないでください。
 - 刃物や硬い物などを使用しないでください。
-
- 表面の軽い汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
 - 汚れが気になる場合は、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に付けて拭き取り、水をよく絞った布で拭いた後、日陰でよく乾かしてください。
 - 排気口にほこりが溜まった場合は、掃除機で吸い取ってください。
 - お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。

収 納

- 使用後は、お手入れしてから収納してください。
- 直射日光が当たる場所や高温になる場所、湿気の多い場所、水場の近くには収納しないでください。
※バッテリー機能を保つには、20℃～30℃の環境に収納することをおすすめします。
※-10℃以下または45℃以上の環境に長期間放置しないでください。
- 水平で安定した場所に収納してください。（本体が傾いた状態で放置しないでください）
- 長期間使用しないとき
 - ・ 3ヶ月～半年に1度は蓄電し、蓄電残量が60%程度になるように放電してください。蓄電池の特性上、電池寿命を大幅に縮めたり、蓄電できなくなったりすることがあります。
 - ・ 電源を切って保管してください。電池寿命を大幅に縮める可能性があります。湿気の多い場所に保管すると、金属部分にサビが出ることがあります。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の事項をまずご確認ください。

症状

使用中、外部機器への出力が止まった
(充電できない、給電できない)

原因 → 対応

- 本体の蓄電残量が0%になっている。
➡十分に蓄電してから使用してください。
- 外部機器のコードなどのプラグが正しく接続されていない。
➡奥まで確実に差し込んでください。
- 周囲の温度が高い、または低い。
➡内部のバッテリー保護機能が作動し、自動的に出力が停止することがあります。
使用環境温度(0~40℃)に一定時間以上置いてから使用してください。
- 過電流保護機能が働いた。
➡AC入力(コンセントに接続)中、入力電流が10A以上の状態が続くと、本体の過電流保護機能が働き、ヒューズが飛んで本体が保護されます。
その際は、本体に異常が無いことを確認し、予備のヒューズに交換してください。
- 本体への入力(蓄電)と外部機器への出力(給電や充電)にかかる合計電力(W数)が定格出力を超えた。
➡外部機器への出力が自動的に停止することがあります。
本体への入力電力と、外部機器への出力電力をそれぞれ確認し、合計が定格出力を下回るようにしてください。
エラーコードが表示された場合は「エラーメッセージ(P17~18)」をご確認ください。
外部機器の消費電力が瞬間的に高まり、合計電力が定格出力を超えることがあるため、定格電力ギリギリの出力は避け、10~20%ほどの余裕をもって使用してください。
また、蓄電中に外部機器を接続する場合は1台のみとしてください。

故障かな？と思ったら つづき

症状

使用中に音がする



原因 → 対応

- 本製品は、バッテリーの過熱を防ぐため、内部のファンが自動的に作動することがあります。ファンが作動しているときは、音が少し大きくなります。

エラーメッセージ

表示部に次のようなエラーが表示された場合は、次の事項をご確認ください。

コード／表示	原因 → 対応
E00 / (AC) 点滅 出力なし	<ul style="list-style-type: none">● 本体の保護機能が働いている。 → ACボタンを押してください。
E01 / (AC) 点滅 出力なし	<ul style="list-style-type: none">● 本体の保護機能が働いている。 → ①接続している外部機器を取り外してください。 ②ACボタンを押してください。
E02 / (AC)または(DC)点滅 対応ポート出力なし	<ul style="list-style-type: none">● 本体の保護機能が働いている。 → 速やかに蓄電してください。その後、使用している出力ポートに対応するボタンを押してください。
E03 / (AC) 点滅 AC出力なし	<ul style="list-style-type: none">● 本体の保護機能が働いている。 → ACボタンを押してください。
E04 / (AC) 点滅 AC入力なし	<ul style="list-style-type: none">● AC入力時の周波数に異常がある。 → しばらく待ち、入力周波数が正常に戻ると、機器の動作が自動的に正常に戻ります。
E05 / (AC) 点滅 各ポート出力なし	<ul style="list-style-type: none">● 本体の保護機能が働いている。 → ACボタンを押してください。
E06 / (AC) 点滅 各ポート出力なし	<ul style="list-style-type: none">● 本体内部が過熱状態になっている。 → 適正温度に下がると、自動的に正常に戻ります。

エラーメッセージ つづき

コード／表示	原因 → 対応
E07 / (AC) 点滅 各ポート出力なし	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の保護機能が働いている。 → 適正温度に上がると、自動的に正常に戻ります。
E08 / (DC) 点滅 各ポート出力なし	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の保護機能が働いている。 → DCボタンを押してください。
E09 / (AC) 点滅、AC出力なし ACまたはAC+DCが 600W超過	<ul style="list-style-type: none"> ● 内部異常が発生している。 → AC出力が定格出力を超えています。外部機器を外してから、ACボタンを押してください。
E10 / E10 点滅 各ポート出力なし	<ul style="list-style-type: none"> ● 内部異常が発生している。 → 電源ボタンを長押しして、再起動してください。
E11 / E11 点滅 各ポート出力なし	<ul style="list-style-type: none"> ● USB-Aポートの過負荷が起こっている、またはショートしている。 → DCボタンを押してください。
E12 / (DC) 点滅 各ポート出力なし	<ul style="list-style-type: none"> ● 内部異常が発生している。 → DCボタンを押してください。
— / AC出力または入力なし 蓄電残量メーター回転	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体が低温（高温）になって、保護機能が働いている。 → 適正温度に上がる／下がると、自動的に正常に戻ります。
— / 入力なし	<ul style="list-style-type: none"> ● ソーラーパネルからの入力が過電圧になっている。 → 入力電圧が正常に戻ると、自動的に蓄電が再開します。

仕様

総重量	(約)5.7kg
サイズ	(約)幅24×奥行18.5×高さ19.5cm
電源	蓄電式(リン酸鉄リチウムイオン蓄電池)
蓄電方式	AC蓄電
入力電圧／電流	100V／2.5A
蓄電時間	(約)2.3時間
蓄電池容量	512Wh
出力タイプ	AC×2、DC×1、USB-A×2、USB-C×1
出力電圧／電流	[AC] 600W [DC] 12.8V/10A [USB-A] 5V/3A、9V/2A、12V/1.5A [USB-C] 5V/3A、9V/2A、12V/1.5A
充電能力	[スマートフォン] (約)55台 [タブレット] (約)15台
使用環境温度	0~40℃
構成	本体、ACコード、予備ヒューズ
素材	ABS、リン酸鉄リチウムイオン蓄電池

- 蓄電時間は目安であり、実際の時間は多少前後することがあります。
- 充電能力は、スマートフォンのバッテリー容量を(約)2,000mAh、タブレットのバッテリー容量を(約)7,000mAhとして計算した理論値です。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。